

プレスリリース 令和8年3月16日(月)

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる

島根創生  
SHIMANE SOUSEI 2nd



島根県立美術館 電話：0852-55-4700

【取材・撮影についての問い合わせ】

小澤・島田・杉本（広報）

誰  
もが、誰  
かの、  
た  
か  
ら  
の  
もの。

## 島根県立美術館 コレクション展 「茶の湯の工芸」開催のお知らせ

島根県立美術館では、コレクション展 展示室3におきまして「茶の湯の工芸」を下記のとおり開催しています。

大名茶人として知られる松江藩松平家七代藩主 松平治郷（号 不味）は茶道具を積極的に蒐集し研究したほか、自らの好みになかった茶器類を職工たちに制作させました。出雲地方では楽山焼の長岡住右衛門貞政や布志名焼の土屋善四郎政芳（雲善）、漆工の小島漆壺齋、木工の小林如泥らが不味に取り立てられたことが知られます。不味の亡き後も、その後の藩主らのために勝軍木庵光英や永原雲永などが腕を振るいました。茶の湯の工芸作品を紹介します。

### 1. 開催概要

展覧会名： 茶の湯の工芸

会 期： 令和8年3月12日(木)～4月27日(月)

休 館 日： 火曜日

観 覧 料： 一般300円、大学生200円、小中高生無料

※4月1日より観覧料改定

一般400円、大学生260円、小中高生無料

会 場： 島根県立美術館 2階コレクション展 展示室3

時 間： 10:00～日没後30分（展示室への入場は日没時刻まで）

松平不味 おきづつはないれ 《置筒花入》江戸時代後期  
島根県立美術館蔵

竹の染みを景色に取り入れた花入。  
不味自ら手掛けたもの。



### 2. みどころ（ポイントなど）

- ・大名茶人 松平不味にまつわる茶道具を展示。
- ・陶芸や漆芸など出雲地方ゆかりの工芸作品を多数紹介。
- ・展示総数 36 点



ぞんせいたけすずめこうごう  
**《存星竹雀香合》明時代**  
 島根県立美術館蔵

不昧が蒐集した茶器の一つで雲州蔵帳に記される。



はりこうしこうごう  
**《張庫牛香合》江戸時代**  
 島根県立美術館蔵

不昧好みと呼ばれる、不昧が職人に作らせた香合。



らくざんやき きいらぼちやわん  
**《楽山焼 黄伊羅保茶碗》江戸時代**  
 島根県立美術館蔵

代々松江藩のために茶陶を焼いた楽山窯の茶碗。豪快で堂々とした姿をもつ。



初代 小島漆壺斎 **《棗「若草」》江戸時代**  
 島根県立美術館蔵

漆の塗りを得意とした初代漆壺斎の棗。高い技術を評価した不昧は漆壺斎の名を与えた。

島根創生計画 [第2期]	VI心豊かな社会をつくる 2 スポーツ・文化芸術の振興 (2) 文化芸術の振興 (P 8 1)
-----------------	---

**【県 HP】**

(島根創生を進めるための新規・拡充施策 (令和7年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanr7/r7gaiyou.data/shinkikakujuR7.pdf>



(島根創生計画 [第2期])

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>



※別途、民間の配信サービスを利用し、情報発信する予定です。